

令和8年3月吉日

船橋希望学舎
世田谷区立船橋希望中学校
校長 市川 義文
学校関係者評価委員会事務局

令和7年度 学校関係者評価委員会の報告を受けて
次年度（令和8年度）に向けた改善方策

1 学習指導について

教職員の自己評価、生徒アンケートともに高い肯定的評価を得たが、さらに「せたがや探究的な学び」に基づく授業改善を進め、より探究的な授業をデザインし、「学ぶことが楽しい」と感じる生徒を増やしていく。また、評価についても、さらに丁寧な説明や個別対応、評価方法の明確化を行う。

2 生活指導について

教職員の自己評価、生徒アンケートともに高い肯定的評価を得たが、生徒が安心して、楽しく達成感のある学校生活を過ごせるよう、教育活動全体でさらにきめ細やかな指導を行い生徒が相談しやすい相談体制を築く。また、不登校傾向の生徒や集団生活になじめない生徒への対応については、ほっとルームをステップとし、スクールカウンセラーや関係機関、すまいるルーム、学舎の小学校等と連携して組織的に行う。また、教室環境の整備、学校行事、地域に出ていく活動の充実により、自己有用感が実感でき、精神的な満足感が得られる魅力的な学校・学級づくりを推進することで、不登校の未然防止につなげる。

3 キャリア教育・進路指導について

引き続きキャリアパスポートの指導内容や方法について全教職員でその在り方を考え、学校組織としての指導体制を構築する。また、特別活動や地域貢献活動等を通して、自己をいかす集団活動や体験活動をさらに充実させ人権尊重、豊かな情操や感性、規範意識、自己有用感や主体性の育成など、社会の一員としての自覚と豊かな人間性を育てる教育の充実を進める。

4 特色ある教育活動、地域との連携・協働、その他について

- ・SELを毎月1回以上実施する。また、ユネスコスクール加盟校として、校内の自然環境の整備やグローバルシチズンシップを育む活動を行い、持続可能な開発のための教育を促進する
- ・保護者、地域のアンケートの質問項目に対する「わからない」を減らすようにHPに授業の様子や学校公開の情報を載せる、お便りをすぐる等を活用して電子で保護者に配信するなど、情報発信の仕方を工夫し、積極的な連携方法を見出す。

また、生徒の地域での活動を増やすために、学校運営協議会に地域活動コーディネーターグループを設置し、ボランティア活動の活性化を図る。

- ・学び舎の日を活用し、学舎で可能な限り授業見学や意見交換の場を設けていく。また、小学校6年生の中学校授業見学会などの交流の場を増やしていく。